

3. 第3回金沢片町まちなかワークショップを開催しました！

今回は、人と空間の関係を研究している専門家（高松講師）をお招きしました。

「人」と「空間」の関係から

人の回遊や賑わいの検討には、部屋の間取りを考えるのと同様に、まちなかにおいても「空間のつながり」を考えることが大切だとわかりやすく解説していただきました。＜空間のつながり→人の流れ→経済＞

賑わい診断調査の結果から

金沢のまちなかには、賑わいの核を持つ複数のエリアが存在するものの、主要な道路を往復する単調な移動経路が多く見られ、奥まったおもしろさを持つ歴史的な構造が残しつつも、周囲とのつながりが弱く、途中経路に使われにくいという課題が明らかになりました。

老朽建物の更新等に向けて

今回のワークショップを初めに、講師からのヒントも含めて来年度もこのテーマで勉強や意見交換を重ね、片町A地区に続くハード整備が着実に進むようにと考えています。

今回は、大学生や子育て世代の主婦、高齢の方など、グループ別に行ったヒアリング調査をもとに、交流スポットの創出を考えます。ぜひご参加ください。

【第4回】来街者のニーズ調査と交流スポットの創出について

日時：平成26年3月19日（水）午後7時～
場所：金沢学生のまち市民交流館 交流ホール

金沢片町まちづくり会議では、一緒にまちづくりを考え、取り組みに参加できる仲間を募集しています。

興味のある方、話を聞いてみたいという方は、各商店街の事務局や町会の代表者、または下記問い合わせ先まで、お気軽にご連絡ください。

発行：金沢片町まちづくり会議

＜このニュースに関する問い合わせ＞ 金沢市市街地再生課 TEL：220-2676

－ 金沢片町まちづくり会議 －

平成26年3月初旬

まちづくりニュース

Vol.2

トピックス

1. 金沢片町チョコレートキャンペーンイベントを行いました♪
2. 賑わい診断調査結果をお知らせします。
3. 第3回金沢片町まちなかワークショップを開催しました！

1. 金沢片町チョコレートキャンペーンイベントを行いました♪

チョコの年間消費量全国第1位は金沢。

ここに注目し、金沢片町まちづくり会議の企画第1弾として、バレンタインデーに合わせ、片町スクランブル交差点でイベントを行いました♪

小雪の舞う寒い中を、子供から大人までたくさんの人が集い、500人分用意した温かいホットチョコレートは、配布前から行列ができるほどの盛況ぶりです。PRチョコレート1,000枚もまちのみなさんから手渡され、あっちこちに微笑みの輪ができていました。

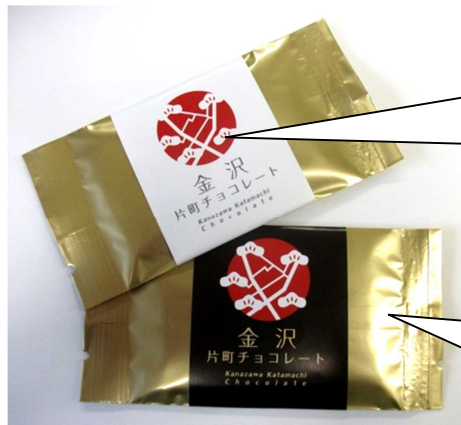
さらに、お酒が似合うこのまちでぜひ試してほしいと、バーテンダーさんおすすめのチョコレートカクテル「金沢ショコラ」と、まちのソムリエさんによるチョコと相性の良いワインは、180人分全て行き渡り大好評でした。

この会議では、チョコレートをテーマに金沢片町でできることを考え、今回企画した「金沢片町チョコレートキャンペーン」を来年度もまちのイベント等に取り入れ定着させていきたいと考えています。



<金沢片町チョコレートのご紹介>

①金沢片町PRチョコレート



ロゴデザイン

兼六園に代表される松を使い、松の枝は片町の通りを表しています。片町スクランブル交差点はどこでしょうか？

金色のパッケージは全国シェアトップを誇る金箔（生産量98%以上！）をイメージし、チョコに金箔を吹き付けました。

②チョコレートカクテル

金沢片町にある15店舗のバーにて、共通で楽しめるチョコレートリキュールを使った「金沢ショコラ」と、そのお店でしか味わえないオリジナルカクテルを用意しています！

金沢ショコラ



③チョコとお酒のおいしい関係

まちのソムリエさんを中心に、バーテンダーさんやきき酒師さん、学生さんと一緒に見つけたチョコとお酒の関係を、新しいメニューの考案につなげていきます。

チョコレートソースのアレンジ料理



④コラボチョコレート

市内の洋菓子店がチョコレートのコラボ商品で金沢片町を応援しています。

2. 賑わい診断調査結果をお知らせします。

興味のある方はぜひ、まちなかワークショップに参加して！

昨年10～11月に、尾山神社～長町武家屋敷跡～新橋～にし茶屋街～寺町寺院群～桜橋～21世紀美術館～金沢城公園内のまちなかエリアを対象に、来街者の移動観測とインタビューによる賑わい診断調査を行いました。

この調査から、来街者の分布や移動経路を地図上に落とし込み、分析した結果が第3回まちなかワークショップ（次ページに開催内容あり）で報告されました。その要旨をお知らせします。

○来街者が、どこに、どれくらいいるか？

- ・香林坊周辺が最も多く、片町、堅町、長町、広坂、寺町にも集積がある
- ・香林坊を中心に、子どもを連れた人は広坂方面、若者は片町方面に多いなど、属性ごとに傾向が見える

○どこに立ち寄り、どんな経路で歩いているか？

- ・香林坊、広坂周辺を目的とした来街者が多い
- ・片町、堅町と寺町・にし茶屋街、長町の観光エリアとの回遊が少ない
- ・主要な道路を往復する単調な移動経路が多い

○建物や街路の状態から「行きやすさ」や「わかりやすさ」を分析すると？

- ・歴史的な構造が残るエリアは、奥まったおもしろさがある一方で、途中経路としては使われにくく、周囲とのつながりが弱い
- ・国道157号線と犀川が歩行者動線を分断している

調査の分析結果

資料をお求めの方は市街地再生課まで

高松講師（スペースシンタックス・ジャパン(株)代表）からの4つのヒント

【キーワード】視線・動線をつなごう！

- ①堅町通りから木倉町通りまで一直線に。新堅町～長町の連続した歩行者動線を！
- ②プレーゴから柿木畠ポケットパークまで見通せる空間を！
- ③飲食店が集積する新天地から新片町までを横丁的な一体感に！
- ④新たな歩道橋で犀川の両岸をつなぐループ状の経路を！

詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://katamachichoco.com>

「片町チョコ」でも検索できます♪